

NEWS LETTER

学習ステーション学外連携プログラムの実施

2024年2月15日（木）に、江東区立深川第二中学校からの依頼により、学習ステーション学生スタッフが深川第二中学校二学年生徒79名に向け「Lステ出張プログラム」を実施しました。プログラムテーマは「大学での学び」で、学生スタッフ自身の大学での学習経験を中心に「勉強することのメリット」等を伝えつつ、学習面での生徒の疑問や悩みに対して回答をする双方向型のプログラムとなりました。

なお、本プログラムは、学習ステーション学生スタッフ出身の当該中学校教員からの依頼で実施に至ったものであり、学習ステーションが学外と連携して学生企画プログラムを実施する初めての取り組みとなりました。

「Lステ出張プログラム」概要

学生スタッフはA班（2名）、B班（3名）に分かれ、2つのクラスでそれぞれプログラムを実施しました。プログラム中は中学生が熱心に聞き入ったり、活発に質問する姿が見られ、また、学生スタッフもそれらに臨機応変に対応しながら、多くの学びを得た様子でした。

<プログラム内容>

学生スタッフ自身の現在の学習情報や経験を踏まえ、主に以下の内容の説明と質疑応答を行いました。

- （1）大学での学び
- （2）大学・高校・中学での学びの違い
- （3）その他、中学生の学習に関する疑問や悩みへの回答

<中学生の感想>

・学生スタッフの話の踏まえ、これからも勉強を頑張って中学校生活を楽しみたいです。
・私は受験勉強等の学習全般に対しすごく怖いイメージを持っていましたが、法政大学の皆さんの話を聞いて、怖いイメージが少しなくなった気がしました。何事にも恐れずに自信を持って挑戦したいと思いました。



社会で活躍する「学習ステーション出身者」インタビュー

今回の「Lステ出張プログラム」の依頼者である高橋 彩さんは学習ステーション学生スタッフの出身者であり、現在は江東区立深川第二中学校の教員として活躍されています。当時の学習ステーションでの活動について、その概要と魅力を存分に話してくださいました。

■インタビュー内容（抜粋）

（1）高橋さんの活動期間

2019年度秋学期～2021年度秋学期

（2）活動参加に至った背景と動機

新入生サポートでお世話になったことで学習ステーションに通うようになり、当時の職員の方に学生スタッフにならないかと声を掛けていただいたのがきっかけです。

（3）当時の活動内容

活動当時はコロナ禍真っ只中だったため、オンライン実施の企画プログラムがメインでした。企画内容は、マネーリテラシー（つみたてNISA等）、新入生向けの授業の受け方やレポートの書き方講座、腰痛・肩こり解消プログラム（オンライン授業で身体が痛くなるという声がよく届いていたため）等です。オンラインでの尾木直樹先生講演会の運営も行いました。

（4）学習ステーションの活動で現在に活かしていること

学習ステーションでの活動は現在の教員の仕事に通ずることが多く、全ての経験が活かしています。その中でも特に挙げるとすると、

- 1 伝えたい内容を簡潔に話す力が身についたこと
- 2 PDCAサイクルを回す習慣が得られたこと
- 3 見やすいスライドを作るポイントを学べたこと
- 4 たくさんの人の前で話すことに物怖じしなくなったこと

です。特に4の点については、元々人見知りだった面を学習ステーションで鍛えることができました。

オンライン企画プログラムでは、多い時には100名程の方に参加いただいた回もありました。また、尾木直樹先生講演会も、不特定多数の方が視聴するYouTube生配信の収録でした。そのような経験をいくつかこなすうちに度胸が身につき、人前で自信を持って話せるようになりました。今、300名の全校生徒や40名の学級の生徒たちに平常心で話すことができているのは、学習ステーションでの経験のおかげです。

（5）これからの学習ステーション学生スタッフへのメッセージ

社会人になった今思い返すと、自分の未来のために、学問や様々な正課外活動に存分に打ち込めた大学生の時は、本当に恵まれた時期だったと思います。学習ステーションは特に、企画の運営を通してたくさんの人と関わることができるため、自分を支えてくれる人脈ができ、何より貴重な挑戦がたくさんできます。目一杯挑戦して、たくさん対話して、経験して、色々なことを学んでいってください。陰ながらですが、皆さんを応援しています。

